

**平成25年第4回周南市議会定例会一般質問通告一覧表**  
(平成25年5月29日～6月3日)

---

## **1 立石 修（顕政会）**

### **1 周南市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について**

- (1) 可燃ごみ処理施設について現時点での市の見解を問う。
- ア 平成25年4月8日付「日刊新周南」の記事について
- (ア) 新南陽、鹿野地区の可燃ごみを平成27年から、熊毛地区分を平成31年から恋路クリーンセンターで受け入れるとあるが、その方向で調整していくと考えてよいか。
- (イ) 恋路クリーンセンターの処理量の上限を示す計画平均処理量8万4,000トンに対して、23年度の処理量は約5万6,000トンで、新南陽、鹿野、熊毛分の処理量を加えても6万7,000トンにとどまるとあり、現処理施設はかなりの余力があるようにも思えるが、どのように理解すればよいか。
- (ウ) 今年度から4年がかりでリニューアルする基幹整備事業を73億円で進めるとあるが、この件に関して3市で合意しているのか。
- イ 周南市内に可燃ごみ処理施設を新設するという考えがあってもよいのではないのか。

### **2 地震・津波に対する安心・安全対策について**

- (1) 地震や津波等に対する安心・安全対策を見直して地域防災力の向上をさらに推進してはどうか。
- (2) 津波対策としての海拔表示は、どの地点を基準にして決めているのか。また海拔表示板を市指定避難場所以外の公共施設にも掲示し、さらに自主防災協議会等にも配布して津波に対する市民の意識を高めてはどうか。
- (3) 土砂災害対策として土砂災害ハザードマップをどのように活用するのか。

### **3 合併未調整項目の調整状況について**

- (1) 合併時に取り交わした合併協定書に掲げられた協定項目103項目（細事業名では166項目）の大半が調整されているが、現在までに未調整の5項目については、今後どのように調整していくのか。
- ア 学校給食の給食費
- イ 簡易水道（料金）
- ウ 給水施設給水使用料
- エ 文書配布等報償金
- オ 自治会・コミュニティ団体補助金
- 

## **2 小林雄二（刷新クラブ）**

### **1 大気汚染PM2.5の対策について**

- (1) 大気汚染物質、とりわけPM2.5の人体に与える影響への不安に対して、市民にどのような教育や啓発を行ってきたのか。
- (2) とりわけ、幼少児童や持病を持つ人にとってのきめ細かな対応が望まれるが、市民の

安心安全を守る立場としての留意点は何か。

(3) 日常活動などに注意喚起を促す際の判断基準は明確にされているのか。

## 2 新庁舎と地域の行政をつかさどる支所とのネットワークについて

(1) 庁舎建設基本構想概要版では、防災拠点、まちづくり拠点が強調されているが、防災やまちづくりは中心部一極では成立しない。各支所との有機的なつながりが重要であると考えられるか。

(2) 新庁舎建設は、支所区域の民意形成が大切である。市民サービスの向上につながる支所機能の拡充も検討すべきではないか。

## 3 地域コミュニティについて

(1) 各地区のコミュニティの重要性を語られるが、この拠点とはどこだと認識しているのか。

(2) 社会教育法の言う公民館は拠点施設であり、整備拡充、ソフト事業の拡充は重要な課題である。明確な方針、整備計画を示すべきではないか。

## 4 平成25年度教育基本方針について

(1) 平成24年度において、新学習指導要領では、小中学校9年間の学習のつながりを意識した指導方法の改善が言われたが、平成25年度にどうつながってきているのか。

(2) 今年度、小中学校の再編整備を継続するとともに、公立幼稚園の再編に着手するとされているが、真意は何か。

---

## 3 坂本心次（顕政会）

### 1 めくもりのある次期まちづくり総合計画の策定に向けて

(1) 10年が終わり、新たなまちづくり総合計画ができるが、旧2市2町の意向をどのように集約し反映するのか。

(2) 策定に向けて、現在どのように準備をしているのか。手続、流れを問う。

---

## 4 土屋晴巳（新誠会）

### 1 胃・肺がん検診について

(1) 胃がん検診の実績について問う。

ア 個別、集団検診の受診状況は。

(2) 肺がん検診の実績について問う。

ア 個別、集団検診の受診状況は。

(3) 本年2月に国が示した「医師の立ち会いがない巡回検診車によるエックス線撮影は違法」との見解について以下を問う。

ア 市の考えは。

イ その影響と対応策は。

ウ 26年度以降の集団検診のあり方は。

(4) エックス線読影の高い精度管理が求められるが、どのような対応が講じられているのか。

### 2 一般廃棄物（ごみ）処理について

(1) 平成17年3月に「周南市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」が策定され、個別計画の

目標達成年度を平成26年度としている。達成状況等を踏まえ、以下を問う。

ア ごみ排出量（家庭系ごみ）の達成度と今後の課題並びにその具体的解決策は。

イ 再資源化率の達成度と今後の課題並びにその具体的解決策は。

ウ 最終処分量の達成度と今後の課題は。

(2) ごみ処理経費の実情と今後の予想について問う。

(3) N7号次期処分場と現施設の周南市不燃物処分場の関係について問う。

ア N7号最終処分場の供用開始は予定（平成26年4月開始）どおりか。

イ N7号最終処分場完成後の周南市不燃物処分場の位置づけは。（廃止となるのか、継続利用となるのか）

---

## 5 福田健吾（顕政会）

### 1 市長の考え方を問う

(1) 夜市川以西の雨水対策を問う。

ア 市道中開作線の進捗状況は。

イ 緊急時の避難場所が実態に合致しているのか。

ウ 高台の避難場所の早急な整備を考えるべきと思うがどうか。

(2) 特定共同企業体（JV）のあり方について問う。

ア 周南市特定建設工事共同企業体取扱要領第6条、構成員の組み合わせについて、市内で行える、行えないの判断基準は何なのか。

イ 周南市特定建設工事共同企業体取扱要領第4条、構成員の数は市長が必要と認める場合は、3社までにこだわっていない。広く市内業者を育成していくのを前提とすれば必要なことであるが、どう考えているのか。

ウ 特定共同企業体（JV）の構成について、制約を周南市は設けていないが、以下の場合の考え方を問う。

(7) 出資率100%子会社との特定共同企業体（JV）（親会社及び同族会社におけるもの）

(4) 役員の重複がある会社との特定共同企業体（JV）（人的関係のあるもの）

---

## 6 田村隆嘉（刷新クラブ）

### 1 次の世代のためのまちづくりについて

(1) コミュニティ・スクール事業について問う。

ア 平成24年度の成果と課題をどのように把握しているのか。

イ 今後の取り組みは。

(7) 小中学校の連携、協力が重要になるが、どのように進めていくのか。

(4) 学校支援地域本部事業との連携が必要ではないか。

(9) 先進校における取り組みの水平展開は行われているのか。

### 2 住みやすいまち、住み続けたいと思うまちづくりについて

(1) コンベンションシティの推進について問う。

ア これまでの取り組み状況は。

- イ (仮称) 周南観光コンベンション協会の設立により、事業の進め方はどう変わるのか。
- ウ 周辺自治体と連携、協力することが重要であるが、どのように取り込まれるのか。

---

## 7 長嶺敏昭 (参輝会)

### 1 収益事業としてのこれからの徳山競艇事業について

- (1) 黒字体質への転換は堅実なものか。
  - ア さまざまな経営努力により黒字体質への転換ができたようだが、現状をどう捉えているか。また、別の観点からてこ入れの余地はないか。
  - イ 電話投票、ネット投票など時代とともに変化しているようだが、競艇事業の将来性をどう考えるか。
  - ウ モーニングレース開催などによる右肩上がりの業績の将来性はどうか。
- (2) 収益増による施設改修等の考えはどうか。
  - ア 中央スタンド改修資金のめどは立っているようだが、改修の必要性和経営上のメリットは何か。
  - イ その他の施設改修の必要性やその他不測の事態に備えての留保資金の必要性はどうか。
- (3) 一般会計繰出金の運用の考え方はどうか。
  - ア 一般会計への繰り出しが自治体収益事業としての大命題だが、繰出金の今後の予測並びに連動する周南市の財務計画はどうか。
  - イ 競艇事業会計からの一般会計繰入金の活用を市としてはどう考えるか。ある程度、使用目的を限定すれば、周南市の政策の独自性やメリハリにつながり、市民にもわかりやすくなると思うがどうか。

### 2 コンビナート企業と周南市の戦略的互惠関係について

- (1) 「コンビナートの火」は永遠か。
  - ア 周南コンビナート活性化推進懇談会の会議の進め方はどのような方式か。
  - イ 総合特区に認定されれば、参加企業の大方の要望、懸案の解決になるのか。その他、市・企業相互の今後の課題は何か。
  - ウ 石油精製事業からの撤退を表明している出光興産徳山製油所の跡地の活用情報や周南コンビナート形成の礎となった企業への戦略的支援策、周南市との互惠関係は検討・協議されているか。
  - エ 本屋大賞受賞の経済小説「海賊とよばれた男」が上下2刊でミリオンセラーとなった。徳山の地やゆかりの人物が実名で登場するなど痛快で興味深い作品だ。もし映画化が決定となれば、その効果を見据え、対策を検討しておく必要があるのではないか。
  - オ 文化講演会を開催し、講師に作者を招き、交流を深めてはどうか。

### 3 ペット飼育者のモラル向上と「(仮称) 動物愛護シティー宣言」について

- (1) ペット飼育者のモラル向上のため、動物愛護ボランティア団体との関係はどうか。
  - ア 平成18年のCAA提言書「ペット飼育者のマナー向上について」を受けて、その後の対策の進捗はどうか。

イ 市として、市内の民間動物愛護ボランティアグループの活動実績の把握・評価はどうか。また、連携と支援はできないか。

(2) 動物園のリニューアルと動物愛護を連動させてはどうか。

ア 徳山動物園がある周南市として、率先して「(仮称)動物愛護シティー宣言」を出してはどうか。

イ 動物園がリニューアルオープンする前から、動物に優しい周南市の姿勢を全国にアピールできるよう官民で啓発に努めるべきだと思うがどうか。

---

## 8 金子優子（公明党）

### 1 もやいネットセンターについて

(1) 見守りを必要とする人とは、どのような状況の方なのか。

(2) 地域見守りネットワークについて

ア 地域福祉コーディネーターの役割は何か。

イ 見守り活動の拠点はどこにつくるのか。

ウ 活動を行う次世代のリーダーの育成はどのようにしていくのか。

(3) 24時間対応だが、夜間の対応は誰が行うのか。

(4) ライフライン関係者との協定締結の状況は。

### 2 発達障害児支援について

(1) 早期発見・支援が重要であるが、就学前の相談・支援の取り組みはあるのか。

(2) 教職員への研修などはどのようにされているのか。

### 3 DV相談窓口の周知について

(1) DV防止啓発カードの設置状況は。

(2) 今後の対策を伺う。

---

## 9 吉平龍司（公明党）

### 1 成年後見制度の利用について

(1) 成年後見制度利用促進事業への予算化や申し立て・補助等の実績は。

(2) 高齢者や障害者の方々に対しての後見支援員の育成や利用促進について問う。

(3) 相談窓口の開設場所と個別支援の現状と制度周知について問う。

### 2 がん検診の受診率向上について

(1) 50歳以上の男性を対象とした前立腺がん検診や健康増進法に基づいた胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診の種類別がん検診の受診率は。

(2) 受診しやすい環境を整えることや受診率の向上への啓発などの取り組みの現状は。

(3) 胃がん検診のピロリ菌検査（ABC検診）導入への協議状況について問う。

### 3 県道下松新南陽線の青山町交差点の課題

(1) 交差点からの西緑地公園への誘導表示板設置の考えは。

---

## 10 相本政利（公明党）

### 1 地域防災の取り組みについて

(1) 安全で安心して暮らせるまちづくりに向け、地域自主防災活動について、以下の3項目を伺う。

ア 自主防災組織について

(ア) 自主防災組織の設立状況及び今後の設立予定地域は。

(イ) 現在の自主防災組織の活動状況は。

イ 防災アドバイザーについて

(ア) 防災アドバイザーの役割、委嘱の状況は。

(イ) 防災アドバイザーの活動（講演・助言等）の状況は。

ウ 防災士について

(ア) 周南市における防災士の役割は。

(イ) 防災士取得情報を把握しているか。また、資格取得に対する啓発、助成は検討できないか。

### 2 大気環境情報について

(1) 周南市の大気汚染状況の公表、対応について伺う。

ア 微小粒子状物質（PM2.5）のデータ公表から注意喚起までの対応方法は。

イ 周南市として微小粒子状物質発生低減の対策はとられているのか。

ウ 市民からの情報公開、健康被害等の要望、相談はないか。

---

## 11 長谷川和美（周南会）

### 1 ラジオ体操で健全な心と体と地域づくりを

(1) 周南市誕生10周年記念事業として、夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会を開催することの意義は。

(2) 夏休み中の地域や学校の取り組み状況は。

(3) 小中学生の体格、体力の現状と課題は。

(4) 子供から高齢者まで幅広い年齢層での健全な心と体と地域づくりを、ラジオ体操の普及を通して進める方向性は。

### 2 公立小中学校の体育館などの「つり天井」の「原則撤去」について

(1) 東日本大震災での天井落下の教訓から、文部科学省は全国の公立小中学校の体育館等にあるつり天井について原則撤去を決めたが、周南市の現状は。

(2) 国土交通省は建築基準法施行令や技術指針の見直しを検討し、ホールや体育館などに設置されたつり天井の耐震対策を2014年4月から義務づける方向と聞くが、周南市の現在計画中的のものも含めての課題は。

(3) 南海トラフ巨大地震が想定される中、土砂災害ハザードマップも配布されたが、避難場所としてのホールや体育館の早急な整備の方向性は。

---

## 1 2 金井光男（公明党）

### 1 周南市就学前子育て支援について

- (1) 平成25年度の幼稚園の入園の現状は。
  - ア 定員に対しての在籍児童数について
  - イ 中途入園の現状について
- (2) 平成25年度の保育所の入所の現状は。
  - ア 定員に対しての在籍児童数について
  - イ 希望されていない保育所への入所割合について
  - ウ 入所決定における優先順位のつけ方について
  - エ 中途入所希望者も含む待機児童数の現状について
- (3) 「周南市就学前児童通園施設の今後の在り方」の進捗について伺う。
  - ア 適切な集団規模の確保について
  - イ 公立施設と私立施設の役割の明確化（民間活力の活用）について
  - ウ 安心安全のための施設整備について
  - エ 幼稚園と保育所の連携（幼保一体化・認定こども園など）について
- (4) 子ども・子育て関連3法に基づく「子ども・子育て支援新制度」の対応を伺う。
  - ア 移行準備期間である、平成25・26年度の対応について
    - (イ) 地方版「子ども・子育て会議」設置の検討はされているか。
    - (ロ) 事業計画策定のためのニーズ調査、実態把握、児童数の見込み等、どのような方法で行うのか。
    - (ハ) 地域型保育給付として、基本的な制度設計（小規模保育、家庭的保育、居宅訪問型保育、事業所内保育）に対する市の対応について
    - (ニ) 待機児童解消加速化プランの中の「緊急プロジェクト」緊急集中取り組み期間の対応について
    - (ホ) 市長部局と教育委員会の横断的な準備組織を立ち上げる必要があるのではないか。
- (5) 保育専門相談員の必要性を伺う。

---

## 1 3 青木義雄（参輝会）

### 1 児童館について

- (1) 周南市には児童館が5館あるが、ハード面・ソフト面それぞれ状況が異なる。これを適正と考えているのか。
- (2) 児童館事業と児童クラブ事業はその違いを明確にした上で、実施されているのか。
- (3) 児童クラブ事業の運営者は、市・社会福祉協議会・保育所がある。市が主体となった一体的な運営を考えていく必要があるのではないか。
- (4) 児童館事業は、どのように検証されているか。
- (5) 児童館事業を今後どのような方向性で進めていくのか。場合によっては状況に応じた発想の転換が求められているのではないか。

### 2 駅ビルについて

- (1) なぜ駅ビルが必要なのか、という市民への発信や理解が不足しているように感じる。どのような認識を持っているか。
  - (2) デザイン会議の役割や位置づけは評価するが、今後より多くの市民を巻き込んだ議論が必要ではないか。
  - (3) 駅ビルを周南市の過去の遺産と特性を最大限に生かした「顔」とするならば、市長が先頭に立って引っ張っていくという姿勢がより求められるのではないか。
- 

## 1 4 岩田淳司（アクティブ）

### 1 市の公共施設の新設と既存施設の今後について

- (1) 新庁舎、新駅ビル、西部道の駅、学び・交流プラザなどの公共施設やこれから新設されるもの、また既存のさまざまな施設の存廃など、これまで固めてきた政策の方向性を問う。
  - ア 財政面
  - イ 既存施設の老朽化問題
  - ウ まちづくり総合計画との整合性
  - エ 再考中の公共施設再配置計画のスケジュールの確認

### 2 学校給食について

- (1) これまで整備されてきた栗屋・住吉・高尾学校給食センター建設の成果などについて問う。
    - ア 給食の食べ残しなどは減っているのか。
    - イ 食育の面からの成果はどうか。
    - ウ 業務委託の成果は出ているのか。
  - (2) 周南市以外の地域の学校給食との比較研究などはしているのか。
    - ア 提供量や食べ残しゼロに向けての比較研究
    - イ 給食費の価格や給食費収納率などの比較研究
- 

## 1 5 友田秀明（周南会）

### 1 新南陽地区の問題点の取り組みはどうか

- (1) 産業道路の朝、夕の渋滞緩和について対策はあるか。
- (2) J R山陽本線以南には都市公園がない。必要だと思うがどうか。
- (3) 緩衝緑地帯構想の進捗状況は。このまま構想だけで終わってしまうのか。

### 2 徳山駅以外のJ Rの駅の老朽化対策と問題点について

- (1) 徳山駅以外で山陽本線が4駅、岩徳線が3駅あるが、合併後市が対応した駅はあるか。
- (2) 7駅について、改修も含め問題のある駅はあるか。
- (3) 徳山駅と比べ格差がありすぎと思うが、今後、市としての取り組みをどう考えているのか。
- (4) 徳山駅ビル建てかえ計画に、周辺部の市民の意見を聞いているのか。



---

## 1 6 福田文治（参輝会）

### 1 新駅ビルについて

- (1) コンセプトを具現化するために、どのような整備をし、どのような機能を持たせるのか。
- (2) 現駅ビルをどのように変えて、新駅ビルの集客、にぎわいを生み出すのか。
- (3) 新駅ビル完成後、どのようなにぎわいを期待しているのか。また、利用者数の目標設定はあるのか。
- (4) 商店街とどのような形で連携をとっていくのか。

---

## 1 7 中津井求（新誠会）

### 1 熊毛地域の国道2号の4車線化について

- (1) 熊毛地域の国道2号はいまだに片側1車線であり、朝夕の通勤時間帯は慢性的に交通渋滞が発生している。交通渋滞の緩和対策について、市の考え方を問う。

### 2 県道下松・田布施線大河内から永代橋間の道路拡張について

- (1) この幹線は大規模農道として建設されたため幅員が狭く、近年大型トラックが多く利用するため、離合する際、接触事故が頻繁に発生している。市としての対策は。
- (2) この県道に接している市民から、交通事故による二次災害（道路からはみ出すなど）が怖くて安心して眠れないとの声がある。市としての対策は。

### 3 熊毛地域の簡易水道事業の進捗状況について

- (1) 現在までの経緯は。
- (2) 簡易水道事業の目的は。
- (3) 費用と工事期間は。
- (4) 現在までに住民説明会を開催したことはあるのか。
- (5) 合併をしなかったと仮定して、単独町政で簡易水道事業を実施したならば、その差異はどうか。

### 4 周南市民歌について

- (1) 合併して10周年を契機に、周南市にちなんだ歌を市民に公募して、市民歌をつくってはどうか。

### 5 ナベヅルの歌について

- (1) まちおこしの一環として、八代のナベヅルの歌を全国に公募してはどうか。
- (2) 周南市出身の歌手にナベヅルの歌を提供して、観光PRをしてもらってはどうか。

---

## 1 8 伴 凱友（周南会）

### 1 熊毛地区の水道事業の今後を問う

- (1) 水道建設の起債に、合併特例債が使用されなかったのはなぜか。
- (2) 水道の管理は国から市単位での運営と料金の統一を求められているがなぜか。
- (3) 水資源の地産地消を目指す行政はできないか。

### 2 原発事故防災計画に関する市の対応を問う

- (1) 原子力防災対策指針の改定とともに、原発近隣自治体の避難計画策定が求められている。

上関原発の計画が進めば当然周南市も避難計画を求められるのではないかと。

- (2) その場合、近隣市町との統一計画が必要と思うが、どのように進めるのか。また、どの程度の期間と労力が必要なのか。

### 3 オスプレイの訓練飛行について市の対応を問う

- (1) オスプレイの訓練飛行が周南市上空でも行われているのではないかと。市としてどのような対応をとるのか。
- (2) 岩国基地からは戦闘機もヘリコプターも飛んでいるが、特にヘリコプターの飛行高度がツルの渡来に与える影響は。

### 4 庁舎建設に関する説明会などの行政説明会について市の対応を問う

- (1) 庁舎建設に関する説明会で、5月18日の徳山地区の住民出席者が3名、19日の熊毛地区の説明会が20名であった。これでは説明会と言えない。誠意ある積極的対応を求めているがどうか。

## 19 中村富美子

### 1 夜市・戸田・湯野地域の保育所整備について

- (1) 夜市・戸田・湯野地域の就学前の子供たちの実態について
- ア 幼稚園、保育所の入所者数は。
- イ この地域の子供たちの保育所への受け入れはどの園が担っているか。
- (2) 「周南市就学前児童通園施設の今後の在り方」が示されているが進捗状況は。
- (3) 地域は保育整備を待ち望んでいる。整備を急いではどうか。

### 2 市営住宅使用料の減免申請について

- (1) 低所得者に対する減免申請は、以前は1年に1回であったが、現行は2回となっている。そこで以下を問う。
- ア なぜ、2回としたのか。
- イ 減免は高齢者が多いと思われる。サービスの観点から元に戻すべきと思うがどうか。

### 3 新徳山駅ビル整備について

- (1) 基本構想（素案）について
- ア 25億円の総事業費で延床面積が4,500平方メートルの建物をつくるとのことだが、維持管理費はどの程度見込んでいるのか。
- イ 4,500平方メートルのうち、公共施設として活用するのは3,400平方メートルである。これは現行と同程度の規模であるが、将来の人口減を見据えたものといえるか。
- ウ 商業施設の点で、中心市街地活性化基本計画と整合性がとれているか。また、商業施設が本当に必要か。
- エ 駅ビル整備は真に必要なトイレや交番にとどめるべきではないか。

## 20 古谷幸男（顕政会）

### 1 国民健康保険について

- (1) 国民健康保険料の安定化を図るために競艇事業の収益などから繰り入れ、基金を増額していく取り組みが必要ではないか。考え方を問う。

## **2 行政のあり方について**

- (1) 3月議会で、新庁舎、新徳山駅ビル建設、動物園のリニューアルについて、今後議会と協議を進め取り組んでいく旨の答弁があった。しかし新庁舎、新徳山駅ビルは既成事実化されようとしている。議会との約束を実行する気があるのか。また、公共施設再配置、ごみ分別、有料広告契約など行政が取り組むさまざまな事業についてもあわせてその姿勢を問う。
- 

## **2 1 島津幸男**

### **1 「朽ちるインフラ」の実態は**

- (1) 施設別、費用別、経年別の分析結果は。
- (2) 公共施設再配置計画との整合性、優先度は。
- (3) 資金手当のめどは。

### **2 パークタウン構想の説明を**

- (1) その範囲は。
- (2) 必要経費は。
- (3) わかりやすい説明を。

### **3 市庁舎建設について**

- (1) 費用・内容の詳細発表のスケジュールは。
- (2) 5月実施の説明会の実施状況は。また、実施済みパブリックコメントの具体的意見は。(地区別出席数、その内容)
- (3) 9.4億円の積算内容の詳細は。
- (4) 耐震リニューアル案78.4億円の内訳は。